

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

会 社 株式会社ニューホープ
住 所 埼玉県坂戸市本町7-17
電話番号 049-277-5333
FAX 049-277-5334
作成日 2002年7月10日
改定日 2019年12月3日

【製品名】

エーワンコート A-1

2. 危険有害性の要約

GHS分類

危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

GHSのラベル要素

シンボル



3. 物質の特定

単一製品・混合物の区分
成分及び含有量

界面活性剤を含有する混合物

シリコーン樹脂 含有量：非公開

界面活性剤 含有量：非公開

水 含有量：非公開

CAS番号

記載はあるが非公開 全成分登録済み保証

官報公示整理番号

記載はあるが非公開 全成分登録済み保証

P R T R 法 (重量%)

ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル1.5%

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動する。症状が悪化したり継続したりする場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

皮膚を石けんと水で洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の診断を受けること。

目に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄すること。刺激が強まったり続く場合には医師の診断を受けること。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。直ちに医師の診断を受けること。

医師に対する特別注意事項

症状に応じて処置すること。

5. 火災時の措置

消火剤

水噴霧。泡消火剤。粉末消火剤。二酸化炭素 (CO₂) 。

使ってはならない消火剤

知見なし

特有の危険有害性

もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動。

特有の消火方法

消防士は、防火衣、ヘルメット、手袋、ゴムブーツを含む標準的な防護衣、自給式呼吸器 (SCBA) を着用する。危険でなければ火災区域から容器を移動する。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置
環境に対する注意事項

関係者以外の立ち入りを禁止する。流出が著しくて回収できない場合は、現地当局に通告すべきである。適切な保護具を着用する。
安全を確認してから、流出防止の措置をとる。下水や水路、土壌への排水を避ける。

封じ込め及び浄化の方法

全ての着火源を取り除く。
大量の漏出：危険を伴わずに出来る場合には、物質の流れを止める。可能な場合は、漏出物が広がるのを防止すること。
プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。バーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。
少量の漏出：布等の吸収材で拭き取る。残った汚染を除去する為に床をよく清掃すること。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

特になし

安全取扱い注意事項

特になし

注意事項

取扱い/保管は慎重に行うこと。

安全取扱い注意事項

ミストや蒸気を吸入しないこと。

保管

直射日光が入らない、涼しく乾燥した場所に貯蔵すること。

技術的対策

容器を密閉しておくこと。凝固するのを避けるため0℃以下で保管しないで下さい。

適切な保管条件

通気の良い場所で密栓保管する。

安全な容器包装材料

元の容器で保管する。本品は水を含有しております。従いまして、金属製の容器に長期保管した場合は、容器が腐食する可能性がある場合がございます。

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（曝露限界値、
生物学的曝露指標）

日本産衛学会（2005年版）

設定されていない

ACGIH（2005年版）

設定されていない

設置対策

洗眼設備を設置する。

作業場は全体換気装置、局所排気装置を設置する事が望ましい。

保護具

作業者が曝露限界値を上回る濃度にさらされる場合には、適切な認定を受けたマスクを着用する必要がある。

適切な保護手袋、眼の保護具を着用すること。

労働衛生保護衣、保護長靴、前掛け等使用すること。

衛生対策

休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。適切な産業衛生及び安全対策の元に取り扱う。

9.物理的及び化学的性質

形状

エマルジョン

外観（色）

白色

臭気	微臭
pH	弱アルカリ性 6-9
融点/凝固点	該当せず
比重（密度）	1.01
溶解度	水に完全溶解
引火点	該当せず
自然発火温度（発火点）	該当せず
燃焼又は爆発範囲一下限	該当せず
燃焼又は爆発範囲一上限	該当せず
蒸気圧	3.2 kPa (25°C) [水]
蒸気密度	データなし
分解温度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	該当せず

10.安定性及び反応性

安定性	通常の条件では安定
危険有害反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	強酸化剤

11.有害性情報

製品としての安全性試験は行っていない。

急性毒性 経口	構成成分に関する情報 非イオン系界面活性剤 LD50 2.6 g / k g エタノールアミン LD50 2.1 g / k g カルビトール類 LD50 6.5 g / k g
皮膚腐食性・刺激性	軽微な刺激性（ウサギ）（類似品により推定）
眼に対する重篤な損傷・刺激性	軽微な刺激性（ウサギ）（類似品により推定）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	陰性（微生物）（類似品より推定）
発がん性	発がん性なし（類似品より推定）
その他の情報	本製品は、空気雰囲気下において150°C以上で加熱した場合、微量のホルムアルデヒドを生成致します。ホルムアルデヒドは皮膚、呼吸器系への感作性、眼への刺激性及び発がん性の危険性が報告されております。従いまして、空気雰囲気下150°C以上で加熱するような条件下でご使用の際は、換気を十分行ってください。尚、換気が十分でない場合は有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用して下さい。

12.環境影響情報

残留性・分解性	乾燥土壤中で分解される可能性あり。
生体蓄積性	蓄積性なし

13.廃棄上の注意

地域の廃棄規則	焼却処理。その際、シリカの微粉が生成致しますので適切な設備での焼却をお願い致します。また、必要に応じて防塵マスク等の
---------	--

汚染容器及び包装

保護具の着用をお願い致します。廃棄物処理法の許可を受けた業者に処理を委託する。内容物/容器は、地域/地方/国/国際法律に従って処理する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14.輸送上の注意

国際規制	危険物には該当しない
国内規制	危険物には該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規則に従う。
航空規制情報	航空法の規制に従う。

15.適用法令

労働安全衛生法	該当せず
海洋汚染防止法	該当せず
消防法	該当せず
毒物及び劇物取締法	該当せず
海洋汚染防止法：海洋汚染物質	該当せず
輸出貿易管理令：規制物質	該当せず
PRTR法（化学物質管理促進法）	該当せず
港則法	該当せず

16.その他の情報

記載内容の取扱いについて

本データシートは、化学製品の工業的な一般的取扱いに際しての安全な取扱いについて最新の情報を集めたものですが、万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加または改訂されることがあります。

記載の注意事項は通常取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。

化学製品に他の化学製品を混合したり、特殊な条件で使用するときには、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

本データシートの含有量、物理的及び化学的性質等の数値は保証値ではありません。

◎特別注意事項

この資料は取扱い及び使用者に対し、適切な警告と安全な取扱法を参考情報として提供するものです。情報は出来る限り正確かつ誠実なものであるよう努めておりますが、使用される環境及び条件については、弊社がコントロール出来ないため、この使用によって直接的又は間接的に損失もしくは損害を生じたとしても弊社はいかなる責任も負いません。